成人男性の性的欲求に関する研究 (2)

—男性用性的欲求認知尺度の因子分析と信頼性の検討—

○下坂 剛¹

(¹ 四国大学)

キーワード: 性的欲求, 男性, 因子分析

The study of sexual desire in adult male (2)

Tsuyoshi SHIMOSAKA¹

(¹Shikoku Univ.)

Key Words: sexual desire, male, factor analysis

問題と目的

下坂 (2014) では成人男性への半構造化面接を経て性的欲求に関するモデルを作成した。本研究では、面接データから作成された男性用性的欲求認知に関する項目をインターネットを用いて質問紙調査を実施し、尺度作成を行うことを目的としている。

方 法

1. 調査対象者 成人男性 300 名, 平均年齢 35.7 歳 (標準偏差 8.01), 20~49 歳の範囲。有職者は 80% (内, 正社員が約 68%), 都市部在住者が 78%, 学歴は高卒 31%, 大卒 51%, 年代 (20 代・30 代・40 代) × 結婚歴 (有無) の 2 要因を統制するため 6 つのセルに 50 名ずつとなる割付が行われた。
2. 調査時期 2014 年 2 月
3. 調査手続き インターネット調査を専門とする業者に委託し, 匿名での Web 上における質問紙調査を実施した。モニターとなる調査対象者は画面上の教示文を読み, それに同意した場合に回答が行われる。
4. 調査内容 男性用性的欲求認知に関する 51 項目。内容は「セックス満足感」「自慰満足感」「社会的制裁への恐怖感」「性欲の強さの認知」「パートナーへの思いやり」「性的こだわり」「性的欲求不満耐性」「他者との共有」で構成され, 5 段階評定で回答する。年齢や職業などフェイスシート項目。

結 果

1. 対象者の選別 分析に先立って恋愛経験やセックス経験を検討したところ, これまでに経験がないとした対象者や恋愛経験がないとした対象者が合わせて 53 名いた。今回の項目の多くはパートナーとのセックス経験が前提となっているため, 以後の因子分析はこれら 53 名を除外した 247 名で行った。

2. 因子分析 性的欲求認知に関する 51 項目について, 項目分析を行ったところ, 「社会的制裁への恐怖感」に関する 5 項目は天井効果がみられ, 「性的こだわり」の 1 項目にフロア効果がみられたので, 以後の分析から除外した。残りの 45 項目について因子分析 (主因子法・promax 回転) を行ったところ, 固有値の推移と因子の解釈可能性から 4 因子解が妥当であると判断した。因子負荷量が .40 以上で複数の因子に負荷しないという基準で 19 項目が残り, 再度因子分析を行った結果を Table 1 に示す。回転後の 4 因子による説明率は 44.22%であった。第 1 因子は「深い満足感」, 第 2 因子は「自己処理」, 第 3 因子は「性的開示」, 第 4 因子は「浮気衝動」と命名した。

因子間相関は, 無相関から弱い正の相関であった。相関の程度は弱い, 全体として相互に正の関連性をもっていると考えられる。

3. 信頼性 内的整合性の観点から α 係数を算出したところ, 「深い満足感」.807, 「自己処理」.713, 「性的開示」.717, 「浮気衝動」.741, 19 項目全体で .753 であり, いずれも十分な値を示した。以上, 4 下位尺度 19 項目をもって男性用性的欲求認知尺度 (Sexual Desire Cognition Inventory for Male: SDCI-M) と命名した。

4. 加齢による変化 SDCI-M の 19 項目合計得点を用いて, 20 代~40 代の群間で一要因分散分析を行ったが, 有意な差はなかった。しかし, Figure 1 に示すように加齢によって低下する傾向がみられる。

考 察

本研究によって男性の性的欲求の認知的側面を測定する尺度が作成された。因子の内容や信頼性の点からデータを適切に反映した尺度が構成されたといえよう。

Figure 1 性的欲求合計得点の世代別平均値

引用文献

下坂 剛 2014 成人男性の性的欲求に関する研究 (1) —M-G-T-Aによるモデルの生成— 日本カウンセリング学会第 47 回大会発表論文集 (印刷中)
注) 本研究は JSPS 科研費 (25590181) の助成を受けた。

Table 1 性的欲求認知項目の因子パターン (主因子法・promax回転)

項目	F1	F2	F3	F4
1) セックスをすると, あたかい感じがして満足する	.81	-.08	.07	.02
2) セックスではお互いの愛情を確かめ合えた感じがして満足する	.72	-.08	-.01	-.08
3) セックスの際はパートナーに感謝したい気持ちになる	.72	-.01	-.02	-.05
4) 同じベッドで肌をふれあうことで満たされるものがある	.60	.04	.01	-.11
5) セックスの後は心地よい疲労感がある	.53	.02	-.09	.06
6) セックスではパートナーから自分が男として認められる感じがする	.49	.11	.08	.07
7) 普通のセックスが一番興奮する	.44	.07	-.08	.08
8) 自慰は面倒がなくて気楽でいいと思う	-.03	.83	.09	-.08
9) 自慰は相手に気をつかわなくてよいので楽だと思う	-.01	.80	.14	.03
10) いろいろな制服をきた人に性欲を感じやすい	.09	.48	.15	.00
11) パートナーに性欲解消の協力を頼みづらいことが多い	-.10	.44	.10	-.01
12) 自慰をするとき疲れてよく眠れる感じがする	.18	.43	.07	.08
13) 性に関することを誰かに相談することはない*	-.02	-.02	.77	-.10
14) 性に関する悩みは友達といつも相談している	.00	.06	.72	.03
15) 性に関する体験は友達と話し合うことはあまりない*	.06	.10	.61	.03
16) 少し変わったことでなければ性的に興奮しにくい	-.20	.20	.40	.05
17) 浮気はいけないと思うが, ついてしまう	.09	-.02	-.03	.92
18) パートナーを傷つけないので浮気はしない*	-.17	-.13	-.02	.72
19) パートナー以外にも性欲を抑えるのが難しいと感じる	.09	.24	.07	.48
因子間相関	F1	F2	F3	
	F2	.22		
	F3	.01	.10	
	F4	-.01	.27	.39

* は逆転項目